

お尋ねの件、私は、安倍晋三は、日本に悪影響を及ぼした点できわめて罪深い首相だったと思います。嘘をつく、法をねじ曲げる、記録を改ざんするなど、国がやってはならないことを平気で行ない、官庁や司法まで歪めてきた首相でした。日本という国を壊しました。

安倍晋三がそんなことを行なえた理由は、彼の知性や政治手腕ではなく、(彼の成蹊大学時代のゼミの教員が指摘しているように)「無知と無恥」にあり、また、周囲が保身のため、わが身可愛さで彼に忖度してきたことにあると思います。情けない限りです。

安倍晋三の祖父の岸信介は、満州国を創った戦犯でありながら、おそらくCIAのスパイを引き受けたためでしょう、巣鴨拘置所を無事出所し、それからわずか10年後くらいで首相になった男、また、統一教会という宗教を自民党支配に組み込んできた男です。

安倍晋三が殺されて、私は悼む気など全くありません。「暴力が民主主義を破壊」などと騒がれていますが、安倍晋三が、嘘や法のねじ曲げや記録改ざんや官僚等への圧力等々によって如何に民主主義を破壊してきたか、赤木さん問題に見られるように良心的な人々をいかに苦しめてきたかも同様に問題にしなければおかしいと思います。「亡くなったら批判を控える」とは美德でも何でもありません。功罪ともに論じて未来に活かすのが当たり前です。

そんな安倍について「中立的に」論じることは難しいですし、また、政治に関してそもそも「中立的に」論じることは不可能だと思いますが、政治に関する論者で私が評価している論者は、青木理氏や斎藤貴男氏です。

二人の名前で検索されれば、私から見ても評価し得る本が見つかると思います。